

中長期目標 (学校ビジョン)	保護者・地域と連携し、望ましい職業観・勤労観を身に付け、知・徳・体のバランスのとれた次代を担う若者を育てる	今年度の 重点目標		1. 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける 2. 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に向けて努力する 3. 健康に留意し、学力向上と部活動に励む 4. ビジネス社会及びグローバル社会に必要な力を身につける			
年度当初		評価結果 (3)月					
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1. 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける	【自覚と誇りを持つ】 ・鳥商であることに自覚と誇りを持ち、規律正しい生活を送っている。 ・校内、校外を問わず、明るく笑顔、気持ちの良い挨拶ができ、制服を正しく着こなしている。	・91%の生徒が鳥商に入学して良かったと思っている。(学校生活アンケートより) ・年間無遅刻の生徒は73.0%、遅刻回数は1日平均0.53件、一人あたり0.56回。 ・95%の生徒が自ら挨拶、正しい身だしなみを実践している(学校生活アンケートより) ・来校者への挨拶、学校外での制服の着こなしについてまだ改善すべき余地がある。 ・95%の保護者が、鳥商は保護者・地域社会から信頼されていると回答。(学校評価アンケートより) ・93%の保護者が、生徒は社会に必要なマナー、規範意識等社会に通用する態度や態度が育っていると回答。(学校評価アンケートより) ・90%の生徒が、学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に参加している。(学校生活アンケートより) ・85%の生徒が、安心して安全な学校生活を送っていると感じている。(学校生活アンケートより) ・SOCの面談件数(生徒、保護者、教員)は延べ77件であり、生徒それぞれが安心して学校生活が送れるよう支援している。	・90%以上の生徒が、商業高校で学ぶ目的意識を高く持ち、鳥商に入学して良かったと思っている。 ・年間無遅刻の生徒が90%以上、一人あたりの遅刻回数が年間0.4回以下である。 ・学校内外を問わず、全校生徒が気持ちの良いさわやかな挨拶が自らできている。 ・学校内外を問わず制服の正しい着こなしができている。 ・地域社会から信頼と信用を得ている。 ・規範意識が高く、社会、学校の規則を守り、場面に応じた言動をとっている。 ・学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に参加し、集団に貢献している生徒が90%以上。 ・安心して安全な学校生活を送っていると感じている生徒が90%以上。	・鳥商ならではの学びのスタイル「知識獲得」→「体験活動」→「実践力の育成」に即した教育活動を継続して実践する。 ・日常生活での挨拶、身だしなみ、規律遵守などを継続して指導する。 ・学校内外での行動・態度について、自身と自校の社会的評価を高める意識を醸成する。	・88%の生徒が鳥商に入学してよかったと回答。(学校生活アンケート) ・95%の生徒が正しい身だしなみを実践、90%が自ら進んで挨拶していることと回答している(学校生活アンケート)が、日常的に挨拶できている生徒の数は減っている。また学校外でも身だしなみを整える意識を高める必要がある。 ・95%の保護者が「鳥商は保護者・地域社会から信頼されている」と回答。(学校評価アンケート) ・93%の保護者が「生徒は挨拶やルール、マナー等社会に通用する意識や態度が育っている」と回答。(学校評価アンケート) ・86%の生徒が学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に参加していると回答。(学校生活アンケート) ・92%の生徒が安心して安全な学校生活を送れていると回答。(学校生活アンケート) ・69.8%の生徒が年間を通して無遅刻であった。遅刻回数は1日平均0.75件一人あたり0.79回。 ・OUアンケートを年間2回(3年生は1回)実施。結果をSOCと共有し気になる生徒について個別に相談しながら対応した。SOCとの面談件数(生徒、保護者、教員)は延べ146件。	B	・鳥商での学びが将来の職場での仕事や上級学校での学びにどう結び付き活用できるのかを、体験活動をおして理解し実感できるようにする。 ・日常生活における挨拶、正しい身だしなみ、規律遵守などの指導を継続。 ・学校外での行動や態度が地域社会からの学校全体への信頼に影響することを確認させる。 ・生徒自身が鳥商生としての誇りを持ち、自分たちで学校を活性化する意欲を高める取組を実施する。 ・学校行事、学年行事など学校、学年、クラス単位で取組む活動において、各自が当事者意識をもって参加する意欲を高める。 ・OUアンケートを実施するとともに、日々の観察の中で気になる生徒についてはSOCと連携しながら対応していく。
	【自ら考え、判断し、行動できる】 ・規範意識、人権意識が高く、秩序だった言動ができるとともに、周囲や集団のために貢献する姿勢が身についている。	・1年ビジネス体験実習(2日間:荒天のため1日短縮)、2年研修旅行(2泊3日東京)、3年鳥商デパート(2日間)を核として、それぞれ事前事後学習を含め、卒業生による進路別講演会、青年会議所員による体験面接指導、マナー講習会等キャリア教育全体計画に基づく模擬活動全てを実施できた。 ・進路LHR、担任との面談、進路別講演会などを実施し、就職先、進学先の決定に役立っている。 ・検定対策補習を計画的に実施した。3年生の全商検定1級取得状況は、3種目以上が85人(81人)取得率は52.5%(42%)となり、過去最高を記録。また1級未取得者数3人(16人)は過去最少の数字。()は一昨年度実績。 ・3年平日補習、夏季休業期間中に全学年補習、公務員セミナーを実施。冬季休業期間中にも検定対策補習を行った。進学、就職試験も実施し実践力を育成した。1年生希望者を対象に4年制大学見学会を実施。 ・各学年で自己表現学習プログラムを実施。3年生では小論文指導、面接指導を全職員で実施。1、2年生ではSHR時に1分間スピーチを行い、多人数を前にして発表する力を育成した。 ・就職希望者内定率、進学希望者合格率ともに100%を達成できた。	・各学年において、キャリア教育に関する体験活動が体系的に計画され、実施されている。 ・自己の社会生活、職業生活に結びつく進路選択がなされている。 ・自己の進路目標の実現に資する各種模擬試験、実務検定試験などに積極的に取り組んでいる。 ・進路希望者対象に平日補習を実施する。 ・1年生対象の4年制大学見学会を継続。 ・2年生進学希望者を対象に夏季休業期間中に勉強合宿を実施する予定。 ・就職内定者を対象に就職直前セミナーを実施する。	・平成29年度版キャリア教育全体計画に従って体験活動を実施する。 ・自己表現学習プログラムを継続して実施する。講演会等の進路を生徒代表に行わせる。 ・各種検定試験に向けて検定週間を計画的に設けるとともに上位級取得を働きかける。 ・進学希望者対象に平日補習を実施する。 ・1年生対象の4年制大学見学会を継続。 ・2年生進学希望者を対象に夏季休業期間中に勉強合宿を実施する予定。 ・就職内定者を対象に就職直前セミナーを実施する。	・キャリア教育全体計画に基づく体験活動を予定しており実施。1年生ビジネス体験実習(10月11日から13日まで)、2年生研修旅行(期間中)、3年生第24回鳥商デパート(12月2日、3日)を中心にそれぞれ活動について事前事後学習を含めて実施できた。就職、進学に関して卒業生、外部講師を招いての講演会、マナー指導、面接指導なども実施し進路決定に役立った。 ・自己表現学習プログラムを計画に沿って実施。各種講演会においては謝辞を生徒代表に行かせた。3年生に対しての論文指導、全職員での面接指導を実施。就職内定、進学合格ともほぼ100%である。1、2年生ではSHR時に1分間スピーチを行い、自分の意見を多人数を前に発表する経験を積ませた。 ・検定週間を設け計画的に補習を実施。3年生の全商検定1級取得状況は3種目以上が72人(65人)であり取得率は41.6%(52.5%)。1級未取得者は7人()は昨年度。 ・夏季休業、冬季休業中に全学年で商業科目の補習を実施。3年生は進学希望者対象に普通教科の平日補習を実施。 ・2年生進学希望者対象の勉強セミナー(8月1、2日)、全学年対象の公務員セミナー(8月1、2、3日)を実施。 ・1年生対象に4年制大学見学会(12月5日関西大学、大阪経済大学)を実施。 ・就職希望者、進学希望者ともに全員が進路決定できた。	A	・平成30年度キャリア教育全体計画に従って事業、行事を実施する。実施後は振り返りさせる。 ・自己表現力を高めるために必要な知識量(読書力、社会事象についての知識など)を増やす。 ・3年生への面接指導、小論文指導を継続。
2. 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に向けて努力する	【進路実現に向けて努力する】 ・体系的計画的なキャリア教育によって、将来の社会生活、職業生活に結びつく進路選択が行われている。 ・進路実現に資する模擬試験、実務検定試験などに積極的に取り組んでいる。	・1年ビジネス体験実習(2日間:荒天のため1日短縮)、2年研修旅行(2泊3日東京)、3年鳥商デパート(2日間)を核として、それぞれ事前事後学習を含め、卒業生による進路別講演会、青年会議所員による体験面接指導、マナー講習会等キャリア教育全体計画に基づく模擬活動全てを実施できた。 ・進路LHR、担任との面談、進路別講演会などを実施し、就職先、進学先の決定に役立っている。 ・検定対策補習を計画的に実施した。3年生の全商検定1級取得状況は、3種目以上が85人(81人)取得率は52.5%(42%)となり、過去最高を記録。また1級未取得者数3人(16人)は過去最少の数字。()は一昨年度実績。 ・3年平日補習、夏季休業期間中に全学年補習、公務員セミナーを実施。冬季休業期間中にも検定対策補習を行った。進学、就職試験も実施し実践力を育成した。1年生希望者を対象に4年制大学見学会を実施。 ・各学年で自己表現学習プログラムを実施。3年生では小論文指導、面接指導を全職員で実施。1、2年生ではSHR時に1分間スピーチを行い、多人数を前にして発表する力を育成した。 ・就職希望者内定率、進学希望者合格率ともに100%を達成できた。	・各学年において、キャリア教育に関する体験活動が体系的に計画され、実施されている。 ・自己の社会生活、職業生活に結びつく進路選択がなされている。 ・自己の進路目標の実現に資する各種模擬試験、実務検定試験などに積極的に取り組んでいる。 ・進路希望者対象に平日補習を実施する。 ・1年生対象の4年制大学見学会を継続。 ・2年生進学希望者を対象に夏季休業期間中に勉強合宿を実施する予定。 ・就職内定者を対象に就職直前セミナーを実施する。	・平成29年度版キャリア教育全体計画に従って体験活動を実施する。 ・自己表現学習プログラムを継続して実施する。講演会等の進路を生徒代表に行わせる。 ・各種検定試験に向けて検定週間を計画的に設けるとともに上位級取得を働きかける。 ・進学希望者対象に平日補習を実施する。 ・1年生対象の4年制大学見学会を継続。 ・2年生進学希望者を対象に夏季休業期間中に勉強合宿を実施する予定。 ・就職内定者を対象に就職直前セミナーを実施する。	・キャリア教育全体計画に基づく体験活動を予定しており実施。1年生ビジネス体験実習(10月11日から13日まで)、2年生研修旅行(期間中)、3年生第24回鳥商デパート(12月2日、3日)を中心にそれぞれ活動について事前事後学習を含めて実施できた。就職、進学に関して卒業生、外部講師を招いての講演会、マナー指導、面接指導なども実施し進路決定に役立った。 ・自己表現学習プログラムを計画に沿って実施。各種講演会においては謝辞を生徒代表に行かせた。3年生に対しての論文指導、全職員での面接指導を実施。就職内定、進学合格ともほぼ100%である。1、2年生ではSHR時に1分間スピーチを行い、自分の意見を多人数を前に発表する経験を積ませた。 ・検定週間を設け計画的に補習を実施。3年生の全商検定1級取得状況は3種目以上が72人(65人)であり取得率は41.6%(52.5%)。1級未取得者は7人()は昨年度。 ・夏季休業、冬季休業中に全学年で商業科目の補習を実施。3年生は進学希望者対象に普通教科の平日補習を実施。 ・2年生進学希望者対象の勉強セミナー(8月1、2日)、全学年対象の公務員セミナー(8月1、2、3日)を実施。 ・1年生対象に4年制大学見学会(12月5日関西大学、大阪経済大学)を実施。 ・就職希望者、進学希望者ともに全員が進路決定できた。	B	・平成30年度キャリア教育全体計画に従って事業、行事を実施する。実施後は振り返りさせる。 ・自己表現力を高めるために必要な知識量(読書力、社会事象についての知識など)を増やす。 ・3年生への面接指導、小論文指導を継続。 ・検定週間を設け検定補習を計画的に実施。 ・長期休業期間中の補習(商業科目を中心に)を継続。 ・3年生進学希望者の平日補習(普通教科)を継続。 ・公務員セミナー(全学年対象)と2年生勉強合宿、1年生4年制大学見学会を継続して実施。 ・鳥取大学と連携して4年制大学進学希望者への進路指導を実施する。
	【健康に留意する】 ・運動・食事・睡眠を意識した規則正しい生活を送っている生徒が76%。授業に集中できている生徒が81%。(学校生活アンケートより) ・0関係性を毎週水・金に実施。進歩大会は10月21日に実施した。 ・健康教育LHRを実施し運動しやすい様子を10月21日に実施した。 ・新体力テストで県平均を下回っている項目が16。一昨年度(21)より改善している。	・運動・食事・睡眠を意識した規則正しい生活を送っている生徒が76%。授業に集中できている生徒が81%。(学校生活アンケートより) ・0関係性を毎週水・金に実施。進歩大会は10月21日に実施した。 ・健康教育LHRを実施し運動しやすい様子を10月21日に実施した。 ・新体力テストで県平均を下回っている項目が16。一昨年度(21)より改善している。	・欠席、遅刻をしないで、運動・食事・睡眠を意識した規則正しい生活を送っている生徒が80%以上である。 ・適切な健康管理が行われており、自主的な運動を心がけ体力向上に努めている。 ・生活リズムが確立され授業に集中できている生徒が80%以上である。 ・商業科目、普通教科科目ともにバランスよく学習し、定期考査期間を除く家庭学習時間が1日平均60分以上である。 ・部活動に全生徒が加入し学習との両立に努めている。 ・部活動が知・徳・体のバランスのとれた人格形成の場になっており、優勝を目指した努力が積み重ねられている。 ・各部活動が互いに切磋琢磨し、全国大会出場の部活動が10以上となっている。	・77%の生徒が運動・食事・睡眠を意識した規則正しい生活を送っており、80%が授業に集中できている。(学校生活アンケート) ・就寝が午前6時以降の生徒が68.7%(健康に関するアンケート)あり、睡眠不足により体の不調を訴える生徒には個別指導を行った。 ・保健だよりを発行し生徒・保護者に時期に応じた健康管理の啓蒙を実施。 ・健康教育LHRを2回実施し健康管理に対する意識を高める機会を設定。 ・0関係性を水曜、金曜に実施。 ・体育祭で1年生全員による高商体操披露。また全校進歩大会を実施。 ・新体力テストで県平均を下回る項目は16(昨年度と同数)であった。	・生活習慣が整っていない生徒へ個別の指導を行う。 ・保健だよりを発行し生徒・保護者に時期に応じた健康管理の啓蒙を実施。 ・健康教育LHRを2回実施し健康管理に対する意識を高める機会を設定。 ・0関係性を水曜、金曜に実施。 ・体育祭で1年生全員による高商体操披露。また全校進歩大会を実施。 ・新体力テストで県平均を下回る項目は16(昨年度と同数)であった。	・学校生活アンケート、健康に関するアンケートを継続して実施する。 ・生活習慣について個別指導を行う。 ・健康教育LHRを2回実施する。 ・0関係性、高商体操、進歩大会など体育行事を継続して実施する。 ・体育祭などで基礎体力を高めるメニューを継続して取り入れる。	B
3. 健康に留意し、学力向上と部活動に励む	【学力向上に努める】 ・主体的に授業に参加し、秩序のある学習態度が保たれている。 ・進路実現を意識した自宅学習が、継続的に積み重ねられている。	・10月平常時の家庭学習時間が39分(51分)と激減した。6月考査前は145分(125分)。()は一昨年度同期。 ・11月17日(木)に授業公開及び研修会を実施。アクティブ・ラーニング型授業が広がりつつあるところ。 ・部活動加入率はほぼ100%。運動部、文化部を問わず上位の大会を目指して活動している。9部が全国大会・出場、団体には3部活動5名が出場し、3月選抜大会には2部活動8名が出場した。	・商業科目、普通教科科目ともにバランスよく学習し、定期考査期間を除く家庭学習時間が1日平均60分以上である。 ・部活動に全生徒が加入し学習との両立に努めている。 ・部活動が知・徳・体のバランスのとれた人格形成の場になっており、優勝を目指した努力が積み重ねられている。 ・各部活動が互いに切磋琢磨し、全国大会出場の部活動が10以上となっている。	・6月考査前、10月平常時の家庭学習時間調査を継続。家庭学習と授業との進捗を高める。 ・授業改善に関する研修会(授業公開も含む)を実施し、アクティブ・ラーニング型授業の拡大を目指す。 ・各教科が研究授業と事後研修会を実施する。	・6月1学期期末考査前1週間の自宅学習時間(1日あたり)は、1年143分(141分)、2年162分(168分)、3年156分(152分)であった。昨年度と比べると()は昨年度同期。10月平常時の自宅学習時間は1年49.1分(40.2分)、2年44.1分(37.8分)、3年48.1分(37.8分)とやや向上した。 ・11月15日(木)に授業改善に関する研修会及び公開授業を実施。簿記、保健、コミュニケーション英語1を授業公開。 ・12月12日にバスケットボール公開授業(商業)を実施。	B	・年間2回の自宅学習時間調査を継続する。 ・期間を限定しながら毎日の学習時間と内容を記録させる取組を計画する。 ・学習内容の定着に関して授業改善研修会及び授業公開を実施する。 ・各教科が研究授業と研究協議を実施する。
	【部活動に励む】 ・すべての生徒が部活動に加入し、優勝を目指した努力を積み重ねることで、人間的に成長している。	・ほとんどの生徒は挨拶、正しい制服の着こなし、場に応じた適切な言葉遣いが実践できているが、学校外での行動や身だしなみについては徹底できていないところがある。	・学校生活のあらゆる場面で指導を継続する。 ・ほとんどの生徒は場に応じた適切な言葉遣い、相手を配慮した言動が取れていると回答している。 ・学校評議員会、学校関係者評価委員会を開催し、外部からの意見を求める。 ・マナーアップ運動等学校外での指導を継続する。	・全校集会等での集合状況は概ねよいが、授業前の態勢作りを徹底する必要がある。 ・第24回鳥商デパートを開催。全学年が参加し保護者にも協力いただいたが、参加者数は71人(前年度873人)。お客様満足度96.9%と過去最高を記録した。2月15日には成果発表会を開き県教委指導担当及び協力企業の方へご挨拶をいただいた。 ・2月末時点での図書貸出し冊数は延べ2,407冊。一人あたり4.6冊で一昨年度より減った。授業利用時間数は95時間(一昨年度88時間)。	・定期的な服装整頓指導に加え、日常的に学校生活全般にわたって挨拶、身だしなみ等指導を行った。全校集会等での場面でも注意喚起。 ・ほとんどの生徒は場に応じた適切な言葉遣い、相手を配慮した言動が取れていると回答している。 ・学校評議員会、学校関係者評価委員会を3回実施した。第1回の回答を受けて、学校生活化事業(先立校訪問)を本年度独自事業で実施する予定。 ・マナーアップさわやか運動をPTAと協力して2回実施。	・学校生活のあらゆる場面で指導を継続。職員全体の意識を細かなところにも向ける。 ・学校評議員会並びに学校関係者評価委員会を開催し、各方面から意見を求め学校改善に活かす。 ・PTAと協力してのマナーアップ運動等を実施する。	B
4. ビジネス社会及びグローバル社会に必要な力を身につける	【ビジネス実践力を向上させる】 ・授業や体験活動等によって習得した知識や技術を、実践力・応用力の育成に活かすことができる。	・2月末時点での図書貸出冊数は延べ2,407冊。一人あたり4.6冊で一昨年度より減った。授業利用時間数は95時間(一昨年度88時間)。	・全商英語検定1級取得者数は11名となり、一昨年度(1名)より大幅に増加した。2級取得者は105名(125名)、3級取得者は527名(510名)であった。()は一昨年度実績。	・新たな交流先は検討中。 ・韓国江原道平和教育フェスティバルに生徒2名が参加。 ・海外からの訪問団を引き続き積極的に受け入れる。 ・海外からモンゴル中央東支度20周年記念事業により生徒5名職員1名が来日。モンゴルを訪問。昨年度交流したフーン総合学校の生徒と交流を行った。 ・全商英語検定1級取得者数は8名(昨年度11名)であったが、2級の合格者数、合格率は上昇した。(2級合格者41人・105合格者15.8%→30.9%) ・1年生コミュニケーション英語1で習熟度別授業を実施。	・全校集会等での集合状況は概ねよいが、授業前の態勢作りを徹底する必要がある。 ・第24回鳥商デパートを開催。全学年が参加し保護者にも協力いただいたが、参加者数は71人(前年度873人)。お客様満足度96.9%と過去最高を記録した。2月15日には成果発表会を開き県教委指導担当及び協力企業の方へご挨拶をいただいた。 ・2月末時点での図書貸出し冊数は延べ2,712冊。一人あたりにすると51.冊と昨年度同期より増加した。授業での利用時間数は238時間(昨年度同期は95時間)となり大幅に増えた。	B	・英語圏の交流先について各所に協力を仰ぎながら検討する。 ・海外からの訪問団を受け入れ、海外派遣を積極的に推進。 ・全商英検1級、実用英語検定2級以上の受検生を積極的に指導する。 ・学習活動を活用して基礎知識の定着のための学習と発展的な学習を平行して行う。
	【グローバル感覚、語学力を磨く】 ・異なった意見に対する寛容の精神と、自分で考え伝える力とを兼ね備え自己表現力が身についている。 ・グローバル感覚、英語運用能力が向上している。	・韓国清州女子商業高校との交流は相手校の都合もあり実施できず。 ・6月にモンゴルから、10月には韓国江原道から交流団を迎え交流を行った。 ・韓国江原道児童・生徒派遣事業に生徒2名が参加した。 ・全商英語検定1級取得者が11名となり、一昨年度(1名)より大幅に増加した。2級取得者は105名(125名)、3級取得者は527名(510名)であった。()は一昨年度実績。	・新たな交流先は検討中。 ・韓国江原道平和教育フェスティバルに生徒2名が参加。 ・海外からの訪問団を引き続き積極的に受け入れる。 ・海外からモンゴル中央東支度20周年記念事業により生徒5名職員1名が来日。モンゴルを訪問。昨年度交流したフーン総合学校の生徒と交流を行った。 ・全商英語検定1級取得者数は8名(昨年度11名)であったが、2級の合格者数、合格率は上昇した。(2級合格者41人・105合格者15.8%→30.9%) ・1年生コミュニケーション英語1で習熟度別授業を実施。	・英語圏の交流先について各所に協力を仰ぎながら検討する。 ・海外からの訪問団を受け入れ、海外派遣を積極的に推進。 ・全商英検1級、実用英語検定2級以上の受検生を積極的に指導する。 ・学習活動を活用して基礎知識の定着のための学習と発展的な学習を平行して行う。			